

令和4年度第2回狭山市スポーツ推進審議会会議録

開催日時 令和5年3月17日（木）
19時から19時45分まで

開催場所 市役所3階301会議室

出席者 池森委員、木谷委員、高瀬委員、新井委員、太田委員、大野委員、
星委員、宮坂委員、村川委員、梅村委員

欠席者 なし

事務局 滝嶋教育長、内藤生涯学習部長、奥富スポーツ振興課長、伊吹主幹、藤本主査

傍聴者 なし

議 題

(1) 令和4年度社会体育関連事業実施状況について

令和4年度に実施したスポーツ教室・行事及びスポーツ協会との共催事業の状況について、資料をもとに説明をした。

質 疑

委 員 やはり事業等の参加人数に関しては、必ずしも多くはない。次年度を含めこれから増加するものだと思う。

委 員 「よく頑張った」と思う。教室や事業等を開催しないとどんどん消えて行ってしまふ。令和4年度の事業実施は、立派なものかと思う。しかし、参加人数の減少については、地道に活動して開催していくことで、また元に戻っていくんじゃないか。引き続き期待されるものなので、来年度もお願いしたい。

委 員 令和4年度に実施した体力テスト向上教室及びアクティブチャイルドプログラムについて、どのような内容か。

事 務 局 体力テスト向上教室については、小中学校で行われている体力テストとして行われる50m走やソフトボール投げ等を、事前に本教室の参加者に対して適切に指導することで、学校の体力テストの結果を伸ばすことを目的に行ったもの。アクティブチャイルドプログラムについては、成長期に合わせ、体力に合った運動を学ぶもので、親子で楽しめる体操を行うことを目的として専門の指導者を招き、今回は小学校1・2・3年生とその保護者を対象に、武道館を会場に行った。具体的には、簡単なかけっこから始まり、親子で楽しめるゴム跳びなど親子の触れ合いを重視した内容で開催したもの。

議 題

(2) 令和5年度社会体育関連事業計画について

令和5年度スポーツ教室・行事、レクリエーション協会事業等について資料を基に説明をした。

委 員 パラスポーツの取り組みについて、来年度に実施予定の種目は決まっているか。また、飯能市ではボッチャを積極的に公民館や授業で行っているため、本市においても、本競技の普及に向けて実施していくと良いと思う。

事務局 あすチャレは、派遣選手によって種目が変わってくるので現時点では、種目の断定はできない。ボッチャについては、公民館でもさまざまな要望があり、講座のほかに大会を行った団体もあるので、今後も支援を継続していきたい。

事務局 あすチャレは、講師を派遣していただく公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターと調整を行い実施していくことになるため、事前に種目の指定ができない。また、ボッチャの普及については、今後も当課においてボッチャの道具の貸し出しを行うなど、普及活動も進めていきたいと考えている。

委 員 タグラグビーと関連のあるセコムラグッツと市では連携協定のようなものはないか。

事務局 セコムラグッツと現時点では連携協定等の締結は行なっていないが、今でもつながりがあるので、今後はタグラグビーの開催やホームゲーム観戦といった点でも、セコムラグッツとの関わりを進めていきたい。

委 員 大学においても、タグラグビーのノウハウがあるのでつながることはできると思う。

委 員 令和4年度の実績が3年度に比べて、ほとんどが下がっている状況の中で、ヨガとCityゴルフ、ウォーキングの参加人数が多い傾向があり、前回より人気があるものと推察できる。そこでそれらを2回実施するとか、2部制にするとかできないか。また、クロスカントリー大会では、スポーツ少年団ミニバスケットボール部会の参加はなかったが、令和5年度は参加したい。
野球・サッカーでは、プロチームと連携し事業を行っているようだが、バスケットボールチームの埼玉ブロンコスと連携してみてもどうか。同チームには、市内学校のOBも所属しており、ミニバスの普及にも期待できる。

事務局 参加人数が多かったヨガ・ゴルフ・ウォーキング教室についてはニーズがあったものと捉えており、そうした中で今後は実施回数を増やすことや2部制にすることなど検討し、更なるニーズに応えていきたいと考えている。

クロスカントリー大会については、今大会では感染症の影響を鑑み、会場での密を避けるため、小学生部門の参加申込みを一旦見送り実施するといった実行委員会での決定経緯があった。

連携協定事業について、西武ライオンズやエルフェンと事業を行っている。埼玉ブロンコスについては、現在、ホームタウンのさいたま市と所沢市との関わりがあるようだが、本市もホームタウンの市とは違った形で連携できることを模索し、何ができるか研究していきたい。

委員 事業の区分けは変わったのか。

事務局 特段、区分は変更していない。事業の実施の有無が未定のものについては、掲載していないが、今後、事業運営主体の実行委員会等で判断し対応していきたい。

委員 スポーツ障害予防講習会は開催しないのか。

事務局 今年度については、先般、市民総合体育館で実施したばかりだが、来年度については、スポーツ少年団及び柔道整復師会と協議を進め、今後の計画に適宜追加したい。

委員 アクティブチャイルドプログラムについて、参加人数が振るわず寂しいところがある。日本スポーツ協会の推奨種目でもあり、鬼ごっこなど非常に良い種目なので指導者の人達から刺激を受け子供たちは笑顔になると思う。いろいろな団体に声をかけてたくさん人数を入れて開催してほしい。

事務局 事業の名称だけでは、内容が伝わりにくいので、今後は事業名に、「親子で・・・」とか副題を付けるなど詳しい内容をPRし、参加者拡大に努めたい。

委員 体力テスト会に参加したが、とてもいい内容なのも関わらず、PR不足で参加者が伸び悩んでいる。自身の知り合いに本事業について話してみると、とても興味を持たれるが、開催されることを誰も知らない。事業として魅力があるが、知られていないのはもったいないのではないかと。

事務局 事業の周知の方法は、この事業に限らず、研究してまいりたい。

委員 本計画案は、あくまでも現時点で決定しているものなので、これから多分、
どんどん増え、参加者も出てくるだろう。

委員 事業等のPRについて、課題が抽出されたが、これから期待したい。

その他 なし

会議資料

- ・令和4年度第2回狭山市スポーツ推進審議会 次第
- ・令和4年度スポーツ関連事業実績報告
- ・令和5年度社会体育関連事業計画